京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

發行所　京城西小門外　京城新報社
仁川支局　仁川宮町三丁目
東京支局　東京市京橋區南金六町七番地

雜錄

●米國研究（二）

橫濱正金銀行副頭取　井上準之助君

支那と云ふ國は亞米利加の友邦であると亞米利加は支那を啓發する天職ありと稱して居ります。而して其の結果米人の支那研究の盛なることは非常のものであります、勿論人情風俗々異にする事でありますから、其の支那に對する觀察が正鵠を得て居るのか否やは疑いますが兎に角熱心の程度は非常なものである、是は何處から起つて來たかと調べて見ると亞米利加が工業國になり將來は必ず生産過多を來すに相違ない而して其工業品を消費するは支那より外にないと目星を付けたのです、故に支那と云ふものを亞米利加に取り込んで置かなければならぬと云ふことで熱心に研究して居ります、米國は將來は農産物は輸入し、工業品は他に向けて輸出せねばならんと云ふので今日までは南亞米利加に手を盡して見たけれども御承知の通り南亞米利加には獨逸人が多數であつて獨逸の資本と獨逸の勢力が盛んなる爲めに亞米利加はどうすることも出來ませぬ、全く米國は南亞米利加には手の着けやうがないのです、そこで全世界に目をくばつて見ると支那と云ふ所は唯だ本統か知らん四億人口がある、中々金持の國である、故に全世界中支那を除きては他に米國の工業品を捌く處はないと考を極めて居るのであります、此の亞米利加の政略を實行するには非常な強い後援者がなくてはならんと云ふ所から中央政府の勸誘によりて一の非常に力の强び殆ど理想的とも云ふべき支那シンヂゲートが出來ました、其れはモルガン商會、第一銀行、シチー銀行、クンローブ商會の二銀行家と二國立銀行でありまして、米國中で最大の金力の結合で御座います、而して此の結合は只私利の爲の結合でありませず、全く國家的のものたることは明であります何となれば、モルガンとクンロー商會を代表するシツフ氏は互に相對峙して、未だ曾つて一緒に仕事をやつたとのないものが從來の歷史を棄てゝ、支那シンヂゲートを組織したるは、全く大統領の支那に對する政策を援ける爲めに國家的の考を以て出來上つたものと考ふるの外はないのであります、而して此のシンヂゲートの代表者ー常に支那に駐在して絶へず支那を視察して居ります。是に依て如何に支那に重きを置くかと云ふことが分るのであります、かうして樣に米國が支那を研究して金を貸して勢力を扶殖し工業品を輸出する結果は支那に於ては商買上日米の利害の衝突することのあるは免れざる處だらうと思ひます、近頃時々耳にしまする日米戰爭論などは一種の夢であつて何人も信ずる人はなかろうと思ひますが、支那に於て日米商品の競爭は免る可からざることと考へます亞米利加が斯の如く熱心に支那を研究して居りますから支那の近くに居る日本が支那を研究する樣に希望するのであります、又支那と云ふ國は研究しなければならぬ大切な國で支那と云ふ國は各國の注目する所で此時各種の商品を捌くには最も適當な場所でないかと云ふことを感じて居りますが又企を放資するに適當な國と吾々は考へられるのであります、茲には米國の現狀及支那に對する態度を述べて諸君に支那を研究して頂きたいと思ふのであります。

●變哲學

夢涯子

◎「忘れねばこそ思ひ出さず」とは高尾の心意氣なり思ひ出しては寫眞を眺めとは今の俗諺なり字を知らざる人の知る人に比して著しく記憶力に富むは此のリズンなる可し

◎中然として狹斜の巷を彷徨し得るは斯くも斯道の苦勞人なり自惚れも色氣もなきなり能はざる人は素人なり自惚も色氣もあるなり

◎人は單調に飽くもの也何事があれかしと冀ふこれ火事場の賑ふ所以なり

◎我儕往々無意識に自殺の方法を考ふこれ[illegible]は目下單調にして頗るシンプルなる境遇が然からしむるにはあらざるか此點に於て人は必らず道樂なかる可らず義太夫、謡曲、十七字の社會學と三十一字のテニヲハよし更らにシンカーパイもよかる可くアイスに苛めらくゝも可ならん唯此場合其撰擇が自殺に勝れば可し

◎自然か世なり自ら然るなり何者ゝ然らしむるにあらず若し然らしむるものあるも靈有かる可き謂れ無し而して自餞の間に人間を造る等は大きに迷惑なり怨んで可なり

◎米の醱酵したる水を呑んで罪あらば味噌汁をすゝる勿れ女を愛するか罪ならば男と生れたるに罪なきか

◎吾人の抱負は沒方法なり負惜みなりされどされど云ふに忍びんや鳴

外事一束

△革命軍　劉家廟及孝感縣に戰ひて連捷官軍の敗走を追擊し勢威益々猛也と

△官軍　内の革命員陰昌に脅迫狀を發り陰昌恐怖し叛亂内に起らんと焦慮す

△薩提督　艦艇十三隻を以て江岸を砲擊したる革軍砲十門を曳き應戰する

△やゝ忽　退切し官軍此戰を座視し海軍を援護せず又復軍艦降伏の風說起れり

△佛國　銀行百万弗の借款に應じ北京大清銀行の手を經て清政府に交附すと

△袁世凱　尙動かず北京督促急なり倫敦時報特派員モリソン曰く彼革軍と講

△和全權を得ずんば健康回復せざらんと官軍意氣沮喪し戰はざるに敗北有

△英國　内相チャーチル海相マッケナ互に位置を換ゆ下院の希望に出づ如し

梁川庄八

第二十一回

小金井蘆洲演

雨はやんだ風も靜まつた、夜の白々明けに阿武隈川八幡ケ崎まで參りました梁川庄八、向を見ると苫を掛けた一艘の船がある、庄「德兵衞々々」と呼ぶと「ハイ」と答へて苫を捲くり、德「オ、若樣最前から待受申しました能く親爺の云事をれ聞なすつてれ入來下すつた、サア〳〵れ急きなすつて」と其儘手を取て船へ乘せるが否や、纜を解き年は老いても氣丈な親爺水竿を張ると、折から風向はよし流れは迅し、阿武隈川を矢を射る如くに下つて荒濱と云處へ船は出ました、追風に帆を擧げて馳下る、瞬く間に仙臺領を放れて奧州中村相馬の領分へ船を着けました德兵衞は吻と一息胸を撫下し、双眼に老の涙を浮べつゝ、德「エ、若旦那樣モウ私も六十を越して宿命短かき老の身でございますから、今世で再び御目通りは叶ひますまい十に九つはこれが此世のれ訣れでございます、併し主從は三世と承りますから、來世で乾度御目にかゝります、就きまして此召物はれ代々の御定紋の付て居ります晴小袖是は御家再興の御内意の有りました節れ召出しの際召すやうにと祕藏いたしました品、遠をれ着換遊ばしませ、其村正の刀は持つ人に祟を致す凶劔と承りますが、正路潔白の若樣に何の祟のあろべき筈がありません、武隈明神樣の御利益にて授かりました靈劍として登盛に遊ばせ、又此大刀は御存知の御父上樣の御遺品命刪丘衞皆高の名刀此二百兩の金子は御父上樣れ遺置と共に若樣の御育資として此親爺にれ渡しになりました金子、是迄は若樣が御出世の時に用ひませうと大事に貯へて置きましたが、今日の旅費と相成ました、是から何處へ御遊歷に相成ましても金子御差閊の節は、一寸御手紙をれ遣し下されませ出來得るだけは御送金申上ます二度と仙臺へ御歸すそと云ぬ夢にもれ出しなさいますな、若又世の中に若樣やふに寃の罪に苦しめられ、或は非道の裁判などを受けて居る者がございましたら御自分の身に引較べて救けてやつて御父上樣の追善に遊ばしますやふ、シテ又れ目鑑に叶ひました御方がございましたら、御師身なされますのも宜かろうと存じまする、と誠面に顯はして申ます、庄「德兵衞誠に添ない……、幼少の折から一方ならぬ世話に相成り、又此度は危急に陷入た我命を救ひくれた、其恩誠に酬ゆるの、追もなく、玆に訣を告げねばならぬとは實以て殘念千萬に存する併し乃公は世の中に出て功名手柄を全う致そうと云ふ考は微塵もない、只今其方が戒めて呉れた通り、寃の罪に苦しみ或は非道の扱ひを受けて居る者があつたら假令此身を粉に碎いてなりとも、必ず其難儀を救くつて遣し、父の追善の爲に致す心得である、其方も最早老年の事だから今當にては對面は覺束なかろう、隨分身體を大切に致して壽を保つてくれ、來世は再會して別後の物語を致すであろう就ア榴ケ岡の和田先生には何れ御暇乞の書面は差出す心得ではあるが、宜敷く申上てくれ並に友達にも宜しく傳へてくれ頼むぞ、德「左らば若樣隨分共に御機嫌宜しう庄「然らば德兵衞達者でと、互に泪を流して訣別を告げて、庄八は上陸を致し德兵衞は其後姿を、目送りて居りましたが靜かに船を阿武隈川に漕返します、偖是より梁川庄八は磐城の平に起きました何しろ永らく牢へ入られて牢間拷問に掛けられて居た身体の非常に疲れて僅かではあるが負傷もして居ますから、此附近の温泉に入浴して療治をする、日ならずも全快致しましたからあれから常陸の太田へ出て水戸の城下と順路を經て、利根川を越して下總の香取鹿島兩神宮に參詣を終り、銚子港から九十九里ヶ濱へ出ましたが其頃は房總三州は關東の名家、里見安房守義康が領主で房州館山に居城して居りまして、卻々全盛の時分です、里見は慶長十九年に滅亡致しましたが、一時は非常な勢ひであつたのです、庄八は海路を彼方此方と見物を致しつゝ、巡り〳〵て上總國の東金と云ふ所へ乘込んで參りました、東金の町の中程に山城屋伊助と云ふ、上等の旅舍がある此家へ投宿致しました一夜泊りの心算であつたのですが、此附近には名所古蹟が澤山あるとの事故、當分滯在をする事に定めました、



京城新報

鴨緑江鐵橋の開通に際して

今を去る十數年前には、深々たる鴨緑江の水も、武士が遠征的氣焔を吐くの詩材に過ぎざりしが如く、眞に山河千里を隔てし心地ぞせしに。今は我領域の境界線となりしのみか、帝都より僅少の日子を費やして此大河の壯觀に接するを得べく、加之、江上には我財力を割いて東洋無比の大鐵橋は架せられ、其が開通式は來る十一月一日を以て盛大に擧行せられんとす。此大鐵橋の開通を見て過去を顧はゞ、誰か我國力の進歩發展の異常なるに驚かざるものあらんや。然り、該鐵橋竣工前既に吾人が欣躍して止まざりし半島併合の快擧あり、特に江を渡れば他國の領土なりと雖も、我經營に屬せる南滿鐵道あり、其沿線の地我國民の移住を見ざるはなく、他領土とは言へ實際我植民地の觀あるに加へて、鐵橋開通に因て、國内鐵道の範圍を踰越する能はざりし半島南滿の兩鐵道をして一躍國際鐵道の列に加入せしめたるに想到せば、誠に鴨江の大鐵橋は我國力が長足進達の勢ひを以て駸々として其歩武を進めし一大表徴なりと云ふを憚からざるなり。吾人は我鐵道當局者が斯る大規模の鐵道を竣成せしめたる功勞の偉なるを認め、且つ此鐵道の開通は國家的大慶事として之を祝すると共に、世界の公道が完成せし見地より大に祝福せざるを得ざると共に、我半島が世界の公道となれるに顧みて聊か一言なき能はざるなり。

上述の如く半島が世界の公道となれると同時に、是迄浦鹽を經由せし外客の大部分は半島を經由することとなる可く、隨つて我半島の經營狀態の凡ては彼等外客の前に暴露せらるべし。半島統治當局者が如何に施政に對する忌憚なき言論を好まざるも、今後外客によりて刺激的の批評の頻出すべきは勿論其批評は從來我國民に施こせし如く抑壓せんことは絶對に不可能に屬す。以て、統治當局者は素より移住内地人は、先づ外客をして我帝國のために不利益なる感想を抱かしむることなきに注意せざる可からざるなり。若それ注意要件としては、施政者は現時の憲兵制度を廢し、劍佩の下に施政をなし居るが如き感を外客に起さしめざる事、司法權の獨立を確保し民人の私權保護に關して安心立命の地を見出さしむる事、會社令の如き民間起業上甚しき妨害をなすものを廢止する等、數へ來らば總督政治の改良をなすべきもの多からむ。次に移住内地人は新附民の指導啓發者として恥づることなきに意を用ふる要件の大なるものなるが、此外に更に最も普遍的に外客をして不快の觀念を惹起さしむるものあり。何ぞや、外客が滊車中より一瞥して直ちに其眼に留るべき半島民の生活狀態是なり。彼外客は、半島民が蝸廬に等しき陋屋に住みをる有樣を見て直ちに半島政治の如何を聯想するや必せり、思ふて爰に至り豈忸怩の念なきを得んや。尤も併合日尚淺き今日にあつては、五百年來李朝政治の遺物なりと辯明し得べきも、將來長きに亘り尚此狀態の改善を見ざらんには、終に我半島政治の低能を世界列國に公認せらるゝに到るべし。故に今後の半島政治は最も重きを半島民生活の向上に措き、東洋流の仁政より一歩を進め、產業發達の方面に全力を傾注し、半島民の生活を日本化せしむるにあり。鴨緑江鐵橋開通に際して、吾人此言を爲す決して徒爾ならざるを信ず。

東京電報

▲**資政院の決議**　豫定の如く廿五日の資政院に於て時局救濟の上案並に盛宣懷彈劾上奏案は滿場一致を以て可決したり明日執奏の筈、後案は趙爾豐、瑞澂盛宣懷の三名を斬に處し以て天下に謝し趙總督の拘禁せる四川省諮議局議員を釋放し諮議局を開かしめ民心の集散を期す可きを述べ前案は一億万圓の借款、我正金銀行一千万圓借款の事を列擧し居れりと云ふ

▲**開封府の陷落**　河南省開封より漢口を經由し其筋に達したる電報に據れば二十四日夜同地に於て一大暴徒起り同城を砲擊すること數時間に及び官軍は既に支ふる能はずして降服せり開封は京漢鐵道の鄭州府より分岐し東に入りたる開封線の終點にして彰德と信陽の中間に位せり

▲**支那借款と獨逸**　淸國政府が一千萬圓の借款は四國銀行に於て之れを拒絕したるが獨逸のみは軍器買込みを條件として承諾すべしと交渉中なり

▲**露紙と支那問題**　露紙ノーウエ、ウレミヤは露國政府に對し今回淸國の動亂を目下露都に於て進行中なる露淸條約改正談判に利用せん事を慫慂し又蒙古王等は自己の主張を訴へん爲め露國に内牒あるを好機として蒙古に自治制を定めんことを勸告せり

北京特電

▲**盛宣懷の革職**　物議の中心となりし盛宣懷は遂ひに革職せられ唐紹怡郵傳大臣となれり

▲**滊船捕獲せらる**　招商局の滊船愼利丸は革命軍のために捕獲せられたり多分北軍に軍器を輸送したる爲めならん

▲**江岸の再戰**　二十五日江岸驛に於て又々兩軍の小衝突ありて革命軍は退却したりとの報あり

▲**北京の人心恟々**　北京の人心は益々動搖し避難の準備を爲す者多し

▲**廣東地方民と革命軍**　廣東地方民は擧つて革命軍に應ずべく準備中なり

▲**米政府の干涉說**　米國政府は南淸の革命亂に關し淸國政府へ干涉を始めたりとの報あり

▲**邦人の引揚**　宜昌漢口方面の邦人は續々引揚げつゝあり

▲**四國借款に應せず**　淸國政府は四ヶ國銀行團に向つて一萬萬兩の借款を申込めるも何れも大局の發展の模樣確ならざれば承諾し難しと拒絕せるに獨り獨乙のみは軍器買込みを條件として承諾すべく交渉中なり

▲**開封變亂と滿婦**　河南省開封府に變亂の恐あり同地の滿州婦人は皆漢婦人の服を纏ひ又同地の滿人は姓名を漢人と同樣に改むるもの多し

▲**獨逸側の軍報**　廿四日漢口に於て發表せられたる獨乙側の軍報に據れば七里溝附近に於て革命軍と官軍との間に哨兵戰行はれたりと云ふ

▲**保定革命黨**　保定府革命黨蜂起の模樣あり官軍は鎭撫の爲め同地に急行せり

▲**盛大臣彈劾要旨**　郵傳部大臣盛宣懷彈劾の要旨は四川の紛亂の大原因は盛大臣が誠意を有せず常に上下を詐きたる結果なりと云ふにあり

▲**盛宣懷革職上諭**　郵傳部大臣盛宣懷革職上諭中に付永遠に起用せずとの意味あり

▲**鎭江方面陷落**　鎭江蕪湖及南昌は革命軍の爲めに陷落せりとの確報を得たり

▲**皇族軍資醵出**　慶親王以下五皇族は軍資金として多額の私財を醵出せらる

上海電報

▲**革命軍又勝利**　革命軍は安徽省太平府に現はれ何等の抵抗なくして砲臺を占領せり

▲**南京官兵も危し**　南京の新式軍隊は革命軍と氣脈を通し何時勃發するやも計られざる形勢なるを以て舊式軍隊によりて守備せり南京各砲臺は全部新式軍隊兵營に向かひ何時にても發砲し得る樣準備し居れりと

▲**南京の戒嚴令**　南京は愈戒嚴令敷かれ六城門は閉鎖され軍隊は叛亂に乘じ革命軍に投じたる形勢あり諸所に火災起る但江岸居留地は無事なりと

▲**南京九鎭叛亂**　南京第九鎭玉紹燐は叛亂を企て混亂中なり玉紹燐の官名は不明なるも少將の格にて軍隊内にて最も勢力を有す

▲**赤十字と活動**　上海淸國赤十字に屬する外國醫師七名日本看護婦一名淸國看護婦三名淸國醫師四十名及其他は襄陽丸に乘して上海を出發漢口に赴くべし

營口特電

▲**京奉線又不通**　京奉鐵道の内北京山海關間は復又不通となり流言頻りに行はる聞く所によれば北京附近にも叛亂起れり

雜報

●**國稅徵收令制定**　制令として近く發布を見るべき同徵收令は內地の法制に準據して制定され只大藏大臣とあるを總督と訂正したる位の變化に過ぎずと云ふ

●**公立普通學校費**　公立普通學校に要する費用の一部は學校設立範圍なるものを定めて同範圍内の地方費に附加して自辨せしむる事とし近く制令として發布を見るべしと云ふ

●**鮮銀の利子引上**　朝鮮銀行にては內地經濟界の影響を受け過般來利子引上の計畫ありしが愈々來る十一月一日より金利二厘引上ぐる事に決定したりと云ふ

●**在鮮在鄕軍人數**　朝鮮に於ける我が帝國陸海軍在鄕軍人會は今春各地共成立したるが爾來其筋に於て在目數調査中なりしが此の程漸やく終了したり其の總人員七千〇八十人にして內海軍百八十四人なるが之れを將校下士卒別に記せば將校四百十八人海軍將校四人準士官百二十九人同海軍二人下士一千二百四十六人同海軍六十九人兵卒五千百〇三人同海軍百〇九人なるが尙ほ更に之れを各在鄕軍人支部別に列記せば左の如し

京城支部陸軍一千七百八十九人海軍三十九人△咸興總員三百五十五人△鏡城同五百二十一人△平壤同三百八十一人△海州同百九十八人△義州二百〇五人△濟州同二百十九人△公州四百八十八人△全州三百四十七人△光州五百〇七人△晉州一千七百二十六人△大邱三百十三人なり

●**母國の飯米不足**　日本內地の米穀生產高が累年消費高に上らず年々鮮臺米及び外國米の輸移入を仰ぎつゝあるが今左に參考迄に農商務省の調査になる四十二年及び四十三年に於ける內地米穀の生產高並に內地人口及米穀消費高を揭ぐれば四十二年は生產高五千二百四十三万七千六百六十二石にして消費高五千四百三十三万三千百六十石人口四千九百九十一万五千人に對し四十三年は生產高四千六百六十三萬三千三百七十六石にして消費高五千三百六十五万八百六十六石（人口五千五十一万九千人に對し）なるが此の統計に依つて見れば四十二年は百八十九萬五千四百九十八石の差を生じ四十三年は七十一萬七千四百九十石の差ありされば將來其の不足高は重もに朝鮮に仰がざるべからざるは言ふ迄もなきところなるべし

●**三菱の鑛山調査**　三菱會社鑛山部にては朝鮮に於ける鑛山經營の第一着手として先般兼二浦附近にある鑛山を十七萬圓にて買收し同社技師は過日調査の爲め來鮮したるが右は鐵山にて近々の中に採掘に從事すべしといふ

●**總督邸晩餐會**　寺内總督には二十八日午後六時より目下來京中の人類學者スター氏及野田、秋岡の兩代議士を招待し晩餐の饗應ある筈なり

●**總督の教育奬勵金**　寺内總督は過般議政府鐵道開通式に臨席したる折同地公私立普通學校生徒送迎したるに依り二三の生徒を指名種々質問する處ありたるが二十六日教育奬勵金として公立普通學校へ五十圓私立普通學校へ三十圓を寄贈せり

●**新義州驛移轉**　新義州停車場內備付器具は悉新驛にて既に廿六日午後迄に大略到着せしを以て二十七日內部の完成を待つて取急ぎ整備の上二十九日頃事務引移しを爲す可しと云ふ

●**桑苗及蠶種調査**　農商工部にては本年各道管內に於ける桑苗の育成蠶種製造狀況幷に明年に於ける配付すべき桑苗及蠶種の豫定概數に付目下詳細に調査中なりと

●**鐵橋上の試運轉**　鴨緑江大鐵橋の滊車試運轉は岡村課長歸任後決定する筈なるが多分三十日午前より行ふ可し

●**京城民會議事**　既報の如く京城民會は二十七日午後四時より民團樓上に於て開會したるが議案は四十三年度決算報告及び漢城病院長交迭問題にて前者は委員會の調査報告を認め後者は委員附託となりたり

●**仁川商議總會**　仁川商業會議所にては二十八日午後七時より民團樓上に於て臨時總會を開き明治四十五年度課金等級割決定の報告ありたり

●**仁川電燈料改額**　仁川電氣株式會社にては目下電燈料金の改正に付其筋に申請中なるが近く認可せらるべきにより來る十二月一日より一部値下に改正さるべしと云ふ

●**故武田師の分骨塔**　故武田範和尙の分骨塔竣成に付來二十九日午前十時龍山祝町瑞龍禪寺にて故和尙の追善供養會を營むといふ

●**岩原三井物產重役の來鮮**　三井物產の專務取締役岩原謙三氏は廿七日夜入京したるが滿鮮地方視察の用向にして當地には三十日迄滯在すべしとの事なり

●**岩原氏記者團招待**　在京中の三井物產重役岩原謙三氏は二十九日午後六時より當地記者團を白水樓に招待し晩餐の饗應をなすと

●**スター博士講演**　既報の如く當地基督教靑年會主催スター博士講演會は二十八日午後三時南大門通り廣通館に於て開會せられ聽衆四百有餘頗る盛會を極めたり尙博士講演中の要點を紹介すれば左の如し

博士曰く自分は永年の間人類學の研究に一身を委ねソレて自分は過去に於て七十五種の人類を研究し右に因つて知り得たことは各人類種族が共通の性情を持つて居ると同時に各異なつて居る性情をも持つて居ると云ふことだ。假令ばドノ種族に在つても親が子を愛し子が親を愛すると云ふ事は同じだ併し容貌嗜好思想等に於て相違がある而して親子の情及びソレに類した事は世界の種族凡て共通であるが容貌嗜好思想は各異なれる境遇の然らしむるところ日本人が日本人たりアメリカ人がアメリカ人たり印度人が印度人たるは自然の結果である、サレば吾人は一方に於て世界の人類が兄弟たることを認めると共に一方に於ては各種族の有する異なれる嗜好思想等を尊重する樣にせねばならぬ。

偖日本が朝鮮を併合したのは何が爲かと云ふに自分の考へでは第一日本の本土が人口過剩の結果放出地を要することと第二日本が半島の爲に過去に於て費したる報酬を得ることと第三將來に於て起らんとする國際的紛亂を避くる爲等で自分は日本が此半島を併合したることは自然の正理に合することと信ずるのである。只茲に注意を要することは此半島には一千三百万の朝鮮人が在ることで是等朝鮮人は一方日本人と共通の性情を有する兄弟であると同時に其血を異にし其言語文學嗜好を異にするところの種族であると云ふ事だ。日本人が朝鮮人を統治して善政を施くことは極めて結構の事だ、併しソレと共に朝鮮人の特種なる嗜好風俗文學言語等を尊重せねばならぬ、斯くするは日本人朝鮮人相互の利益で、斯くしてこそ始めて一千三百萬の朝鮮人は日本の統治に服し日本人に信頼し數年を出でずして日本國の力となる。自分は日本人諸君に向ひ朝鮮人を愛せんことを切に望むものである云々

終つて隈本中學校長聽衆を代表し博士に謝辭を述ぶ。

●**野田氏の東拓訪問**　入京中の代議士野田卯太郎氏は二十八日午前九時半東拓に吉原副總裁を訪問したり

●**米國領事の訪問**　當地駐在米國總領事は二十八日午前十一時小松局長を訪問したり

●**朝鮮群書大系刊行**　朝鮮雜誌社經營の朝鮮古書刊行會に於ては朝鮮群書大系第二十四輯として本月は龍飛御天歌を刊行し豫約者へ配本されつゝあり因みに同會第一期刊行は是れにて完結し引き續き十一月より第二期刊行物を出版するとの事なるを以て豫約者は此際申込むを便利とす

●**民長の總督訪問**　古城民長は二十八日午前十時三十分二三の重要問題に就き寺内總督を總督府に訪問せり

●**新義州淸國領事の訪問**　既記の如く新任淸國新義州領事王克均氏は廿八日入京當地駐在淸國總領事の案內にて寺內總督を總督府に訪問し新任の挨拶をなせり

●**藥師川隊長歸任**　驪州地方へ出張中なりし藥師川當憲兵隊長は二十八日午後歸任したり

●**頭澤憲兵隊長入京**　海州憲兵隊長頭澤中佐は事務打合せの爲め二十八日午前入京憲兵司令部を訪問せり

●**內田良平氏の入京**　內田良平氏は二十七日入京天眞樓に投宿來月三日歸東の筈なり

●**漢城病院改革**　漢城病院は四十二年民團の手を離れて安藤院長之れを引受けて經營し爾來同院長は銳意院務の發展を企圖し以て今日に至れるが翻つて一方同院の裏面には種々綜錯せる事情伏在し居るもの如く殊に近來は內訌甚だしく兎角の評既に世人の口の端にのぼり爲めに安藤院長も當面の責任者として一方ならず意を惱まし時宜に應じて追々と院內の改革を施し來りしが如何なる名醫と雖も浮世の出來事ばかりは根治の術なきものか遂には之れが苦痛と煩累とに堪へ兼ねて斷然意を同院に絕ちしものゝ如く適當の後任者にしてあるならば屑よく現地位を去らんとの意志頗りなる折柄幸ひにも現朝鮮病院に職を奉ずる馬淵元宜氏なるもの後任の希望あり依つて爰に氏は辭去問題を民團に提出し民團にては二十七日開會の民會に附議し委員附託となりたるが一方記者は安藤馬淵兩氏の去就に關し聞くところあらんとして二十八日安藤院長を病院に訪ひたるに氏は多くを語らず唯「辭職問題に關しては今日の場合予の口より云ふを欲せず要するに馬淵氏は溫良なる紳士なれば蓋し適任者ならん」との一語を發せしに過ぎざりき要するに安藤氏去つての同病院は如何に改革さるゝや否や其の改革の方法は別問題とし一日も早く同病院の爲めに從來の弊を一掃されんことを望まざるを得ず

●**京日園遊會**　二十八日慶福宮內に於て開催されたる京城日報社の園遊會は藝妓の餘興手踊等あり極めて盛會なりし

●**民團幼稚園の運動會**　京城民團立幼稚園にては二十八日午前十時より奬忠壇に於て運動會を催うしたり

▲**京城手形交換高**▼

十月	金高	枚數
廿七日	二七九、三四一、二五〇	二七三

▲**茶袋**▼

▲滯京中なる三井物產會社の岩原氏に就て爲渡面白い話がある先き頃のこと氏が渡臺の際西京丸に乘つて內地を出帆した、ところで氏は或る時甲板を逍遙しながら同船の臺灣事務部長大津麟平氏を顧み傍らにあつた古びたる籐椅子を指しさも得意氣に語るやう『是ぞ樺山大將が二十七八年の戰役黃海に戰ふて間一髮の折敵の水雷の危を脫れた時に用ひたもので絕好の記念物である』▲と言ひ了るや氏は自ら敬虔の念を禁じ得ざるものあつたか帽を脫して恭しく叩頭する大津氏も成程左うかと思つて心中追慕の念を禁じ得なかつた迄は上出來だつた▲聽し兩人は飯時が來たので相携へて食室に入ると其の時岩原氏は卓を共にした船長に向つて先きの籐椅子保存の美擧を激賞して已まざるものあつたが船長は何をいつてるのか知らといつたやうな態度で頗るケゲンの色を現はして居る▲ソコで船長は事務長を呼んで椅子の來歷を尋ねると一向存せぬといふダン〳〵調べて見ると何んぞ測らん記念物と見たるは豫て船內の床屋に貸した一個の古椅子ならんとは爰に至つて一同唖然岩原氏は默つて頭を搔く許りであつたさうな

世界一の金光教（上）

（廿七日午後三時半）　白面冠者

[illegible]

二十歳前後の袴を着けた日人男子

[illegible]

醫者の代診

[illegible]

八の教師 四十七

[illegible]

此教會の祈禱では無く神樣に病氣の快癒を願ふ

[illegible]（つゞく）

醫師が見捨てた重患者　一週間經ずして全快

[illegible]の上を思ふて同じ病床に姉妹は手を取って泣いたがやうやく昨今全快して退院の身となつて晴れ〴〵した笑顔は愈々美しい」と語り終つて友に眼を閉じた。嗚呼彼の女が過ぐる想思の愛人健三と樂しき語らひを將優しき歌聲を流せし江戸川の不斷の流れは今と昔しも變らねど變りはてたる人の身かな、其の水の流れと同じく行ゑ定めなき彼の女の運命は如何になり行くであろうか（終り）

房枝物語（下）

支店井門

▽取敢ない昔の夢の跡 [illegible]三日茶屋酒に耽つて面影[illegible]やつした、而して房枝を[illegible]者を離れ彼れとなく嘉[illegible]の揚句は行衛知れずにある。巧言に詐れたる[illegible]ても重ねての失敗に立つた。所が其の上病床[illegible]。捨鉢になつたる彼の[illegible]うとは云はぬ。彼の女[illegible]ふて身を投げ出したが[illegible]氣は終に捨つ可からず[illegible]家は離散の止むを得ず[illegible]は某寺に可憐なる妹[illegible]たのである。

妹は斯くして西も東も[illegible]人になつたのだ彼れ等[illegible]明かにするに至つて。[illegible]の父兄に訴ねるである[illegible]に哀れな話である。[illegible]省くとして未だ浮世の[illegible]小說的な悲事件があつ[illegible]君枝と。紅涙盡ぬ半生[illegible]は一家の不運を負ふて[illegible]

高利化して妾となる

▽旦那は即ち高利貸

仁川猫島遊廓壽樓の抱娼妓芳子（二三）が近頃新町邊の質屋の爺さんに落籍されて手活の花と生けられしを羨んで朋輩衆が陰口を聞たので探つて見ると其れ爺さんは新町二丁目十一番地の二十六質屋兼金貸業繩田喜助（五六）と判明せるも尚合點の行かぬは喜助は日露戰爭當時に渡仁したる大工職なるが纔の儉約家にて取れた金は爪の垢程も外へ出すのは嫌ひ縱令家族に病人が有ても藥を呑ませるよりは藥を買つた心算で其の銀貨を煎じて飲ませると云ふ主義で漸く百圓計り蓄めたのを資本に質屋高利貸を初めて今日に至たのであるから娼妓などに金を出したとは不思議なりと更らに詮索して見ると豈計らんや豫て同樓には少なからぬ高利の金を貸付けありたるも廓は昨今の不景氣で秋風淋しく吹き荒れて落莫の極なれば利息の利の子も入れられざるより是れ迄の利息代りに芳子を受取りし譯にて其後芳子を花房町の或る饂飩屋の奧座敷に圍ひ置き毎晩通ひ居るなりとか

船を賣つて船に乘る

▽賣つた船は主人の物

原籍長崎縣松浦郡岸口村字久保三百八[illegible]門（三三）は長崎市裏町久[illegible]に大連市外三春柳營煉[illegible]三郎方に雇はれ中去月[illegible]有の日本形木造船六十[illegible]に乘込み當時大連港築[illegible]に從事し港外廣鹿島へ[illegible]し僞該船にて逃航し[illegible]評八に該船を八十五圓[illegible]み去廿三日仁川に上[illegible]に木浦より秀吉丸に黑[illegible]し居たりしが二十七日[illegible]に搭乘し和田良平と僞[illegible]け正に出港せんとする[illegible]賀出張擧動不審と認め[illegible]に引致取調の結果前記[illegible]たるが何餘罪ある見込[illegible]久米淺市は花房町濱脇[illegible]りしが庄左衛門の自白[illegible]されたり

東拓の社員家宅捜査

▽大邱出張所員の失態

二十七日東洋拓殖會社大邱出張所員當臥、藤繩、石田等數名は突然其筋より家宅捜索を受け之れと同時に大邱警察署は大活動を始めたるもの〻如し事件の內容は未だ審知するを得ざるも土地賣買に關聯せるが如し

二郡守拘引さる

▽大邱警察署の大活動

大邱に郡守二名拘引せられたりとの說あり事件豫審中に屬するを以て其の眞相を發表するを得ざるも罪名は詐僞取財なるが如しと

●總督府醫院の記事に就き　二十七日所載總督府醫院を觀るの記事中「靈願や總花を出さない客人やだ件れるんやは慘狀なものだ」と記したるが同院の規程に依れば一切患者より物品の贈與を受くる能はざる事となり居れば然る事實あるべき道理なしとの事に就き右の一句を抹殺す（覆面冠者）

●工夫に周旋する　鹿兒島縣出水郡高尾野村大久保三百四十五番戶住所不定植村休右衛門（三〇）は南山町三丁目東京旅館に止宿中上川菊太郎飯高福太郎の兩人が土地調査局測量工夫に就職希望なるを奇貨とし工夫に周旋す可し就ては保證金二圓宛を要すと稱し同人等より金二圓宛都合四圓を詐取し又同旅館を出でたる後に同旅館に遊びに行き家人の隙に乘じ外一點を窃取し又十月六日午後七時頃本町六丁目二十七番戶軒下に置きありし山下傳吉所有の自轉車一臺を窃取し其筋に檢擧され京城地方裁判所に於て詐欺窃盜犯として懲役十月に處せらる

●謀殺が傷害致死　仁川松坂町二丁目九番戶小幡竹松方香川縣人石工駿河鍋長太郎（三六）が同職中垣春造を殺害したる事件第一審に於て謀殺犯として懲役十年に處せられしを不服として控訴し京城控訴院に於て被告辯護人辯護士木尾虎之助氏は傷害致死に處罰す可き犯罪にて謀殺罪に處罰したるは不當なりと辯論ありたるは既報の如くなるが該事件は第一審判決を取消し傷害致死として懲役六年に處せらる

●三分一氏の送別宴　今回龍山尋常小學校長より全羅北道普通學校へ轉任せる三分一讓藏氏の送別會は二十七日午後六時より舊龍山八景園に開會せられ民長及濱島龍山警察署長荒木憲兵隊長民團議員等百餘名の出席したり

●仁川の傳染病者數　本年一月より十月末に至る仁川に於ける傳染病者數は疑似虎列拉一人、天然痘一人、實扶垤利亞一人、腸窒扶斯八人、赤痢十一人計二十三人にして內男十五名、女七名、死亡九人全治十三人なり

●仁川の施療劵下付　仁川京町一丁目宮崎市作方止宿足立仙五郎（四八）は久しく膓胃加答兒に罹り一厘の貯なく醫療を受くる事出來ず苦み居りしが二十七日仁川醫會の施療劵を警察署の手を經て下付されたり

●龍山消防組演習　二十七日桃山桃雲亭附近に於て擧行せられ午後一時濱島龍山警察署長の點檢あり其れより實地演習に移り其結果は警務總監部の小館警部講評ありて同四時半終了せりと

●曹洞宗別院　二十九日午前九時より若草町曹洞宗別院に於て薰風會を開き同宗布教總監北野洞峯禪師の碧巖錄提唱あり參禪隨意

演藝だより

▲壽座　後藤良介一座二十九、三十兩日の代狂言は故三遊亭圓朝作「松の操美人の生埋」全十場なり重なる役割は縣漢潮川剛書（內田）石井山三郎（藤野）貞女れらん（藤田）縣漢眞鳥周玄（澤津）幇間馬作、縣漢海禪（野岡）藝妓小かね（松下）江戶屋半次（後藤）

▲歌舞伎座　片岡鶴之助一行二十九、三十兩日の藝題は「鬪取千兩幟」千田川留吉」の續き切「潮田又之丞」なり

▲浪花館　二十九日の番組左の如し東の旅（枝輔）いはいや（圓松）奇術（喜代子）やかん（小圓）高尾（圓三）神樂（福樂）五人廻（芝鶴）住吉駕（福圓）

●笹本漆器店の開業　從來朝鮮に於ては漆器專門の店舗なかりし爲め少しく高等なる品又は同一品を多數に要する場合は當然內地へ注文せざる可らざる不便ありしも今回笹木漆器店にては各產地に特約し堅牢なる品を內地同樣廉價を以て販賣すべしと云ふ



▲故田口博士「史海」全部好歷史家に讓りたし御望の方は本欄まで御住所姓名

社告

天長節奉祝の爲め本社主催の下に擧行さる可き京城藝妓總出の神田祭式手古舞行列に關する詳細は次號に於て發表仕候

十月　京城新報社

廣告

[illegible]を（エム生）▲小學生徒の行列に先生連が先に立つて行つて後に一人も附添ない事がある危險だ（遜凡人）▲今度東西煙草商會が金口煙草初賣出の爲め本町西洋人及各商店が大恐慌を起した夫れと反對に東西煙草商會では一時間に五萬本も製造するとの出來る機械二臺を二萬圓も出して西洋へ注文した相だ我々は何でも安くて佳いのが喫めるが結構だ（好煙家）▲僕は先夜中檢のお顏を聘して遊んだが顏も立派で顏も美し座敷の取持ちも又敢服したよ（遊野山人）▲龍山彌生園の御役所では傭人側に於て官庭と計り大なる野心を抱き中傷を企てんとす其筋の上官は眼鏡の必要あらん（△△生）

●胃癌に特効　胃癌は不治の病なりと肺病より恐るゝ病なるも今回東京四谷區麴町十一丁目中尾壽久堂にて發賣する外用錬藥見龍は胃癌、肋膜炎、盲腸炎、子宮病等に奇効を奏すると現に名醫に見放されし胃癌が見錬に依りて健康体に復せし者あり斯る靈藥の出現せしは同病者の爲め悅ぶべき福音なり同病に悩む人は同店に照會すれば詳細なる實驗證明書を無代にて送ると